

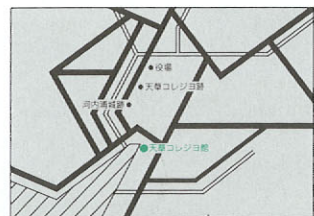
異国情緒生かし町づくり



あまくさ……中世時代このように呼ばれていた河浦町は、天草豪族五人衆の一人として最大の勢力を誇った天草氏の居城地でした。そして今から四百年前、この地にはキリスト教の布教のためのコレジオ（宣教師養成の大神学校）が招致され、ラテン語・哲学・神学等、当時最高の学問の実施のほか、付設の印刷所では金属活字による日本で最初の本（インソップ物語や平家物語など）が印刷されるなど、当時の西洋文化が開花しました。町では、これらのキリスト教文化遺産などを後世に語り継ぐため、本年五月に天草コレジオ館を開館しました。館内には、四百年前のグーテンベルク印刷機や中世ヨーロッパの楽器の複製品を始め、ポルトガルナウ船の模型など数多くの資料を展示、今後の地域振興と文化交流につなげていくことにしています。

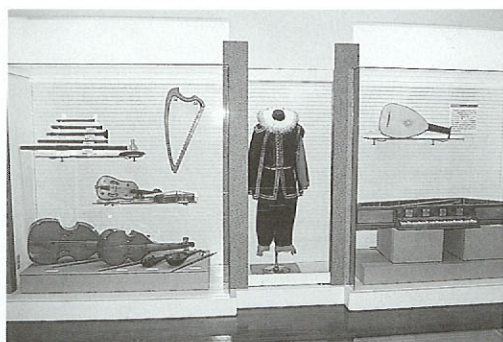
さらに町では今、地域振興策の一つとして天草キリシタン歴史とのかかわりの深い当町の特性を生かし、熊本県が提唱する「くまもと日本一づくり運動」による「教会の見えるウオーターフロントの町づくり」事業に本年度から取り組めます。

この事業では、天草西海岸の漁村集落の中に調和したカトリック教会が醸し出す異国情緒豊かな景観を生かして、崎津地区を拠点とした地域一帯の振興のための整備を図る計画です。計画の内容は、教会の見える展望公園

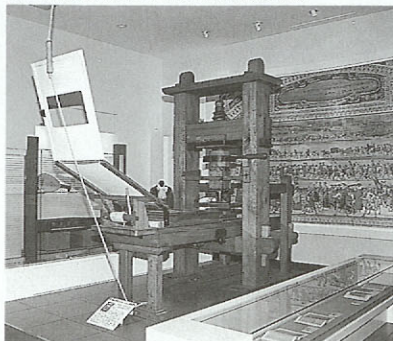


天草コレジオ館
開館時間 9:30-18:00
休館日 毎週月曜日
電話 0969-76-0388

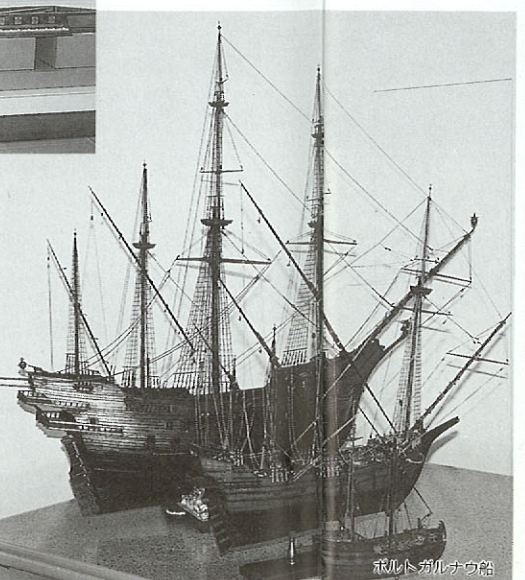
や街並みの整備、崎津から奥深い入江となり海静かな羊角湾一帯を走り、前述のコレジオ館とを結ぶ国道三八九号の道路周辺環境の整備と憩いの広場整備などを進め、南蛮情緒あふれる町づくりを目指しています。皆さんもぜひ、南蛮文化の薫り高く、情緒あふれる河浦町においでになりませんか。



天正少年使節らがヨーロッパから持ち帰り、豊臣秀吉に演奏して聞かせたとされる幻の古楽器(複製品)



天草コレジオ館内に展示してある16世紀当時のグーテンベルク印刷機の複製品(天草コレジオコーナー)



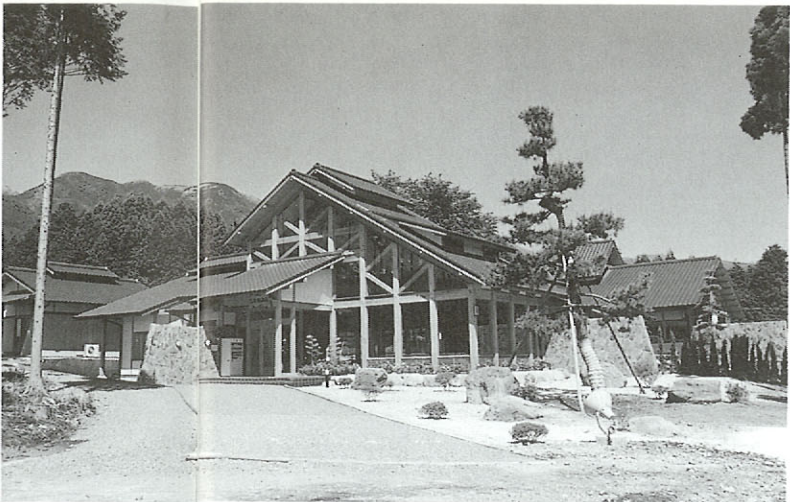
ポルトガルナウ船

総面積 119.24km²
総人口 7,957人
特産品 きゅうり、みかん、インゲン、ピーマン、真珠、養殖タイプリ 他

河浦町

久木野村

総面積 51.26km²
総人口 2,733人
特産品 そば、トマト、メロン、ヤマモモ、リンドウ 他



緑の中の村営温泉センター 10:00-22:00 電話09676-7-2332

阿蘇南外輪の裾野に広がる久木野村。熊本市から見ると俵山の向こう側にある三日月型の小さな村は、村内どこからでも阿蘇山を眺望できる景勝の地です。世界最大級の野外劇場「アスペクタ」のある村として、サウンド・ビレッジ音の村づくりを進めているところですが、今春から「温泉とそば道場のある村」という新しい看板がつけ加わりました。

村まなびと自然体験塾

サウンド・ビレッジ久木野

阿蘇山と南北外輪の大パノラマを見渡す俵山峠から車で八分、木立ちの中の村営温泉センターは、杉丸太をふんだんに使った合掌造りの建物。木の香りのする広いロビー、豊富な泉量、木立ちを見上げる露天風呂が好評で、県内外から月二万名近い来客があります。もう一つの村営施設「そば研修センター」では、地元産のそばと自然薯を使って、そば打ちの伝統技法を伝授します。こねて、伸ばして、切って、自分のオリジナルそばが出来上がるまで約一時間。阿蘇の噴煙を眺めながら味わう「田舎の文化」は格別です。ここでは乾麺の「久木野そば」や地元主婦グループによる「そば枕」ほかの手づくり製品も販売。売れ行きも好調です。村では、基幹産業である農業と、これら自然体験型の観光施設がうまく結びついて、村おこしの活力となっていくことを期待しています。

このほか、豊かな自然を素材にしたイベントも盛況です。南阿蘇全域を舞台にしたアウトドア・サマー・ジャンボリー（八月）、早春の野山を駆ける大阿蘇クロスカントリー（三月）、くぬぎ林の中のジャズピアノコンサート（八月）等々。久木野村ならではのイベントの開発と定着をめざしています。この夏南阿蘇で、お好きな自然体験メニューを選んでみませんか？



そば鉢を伏せた形のそば研修センター

そば道場 9:00-18:00
電話09676-7-0507



そば打ち指導風景

